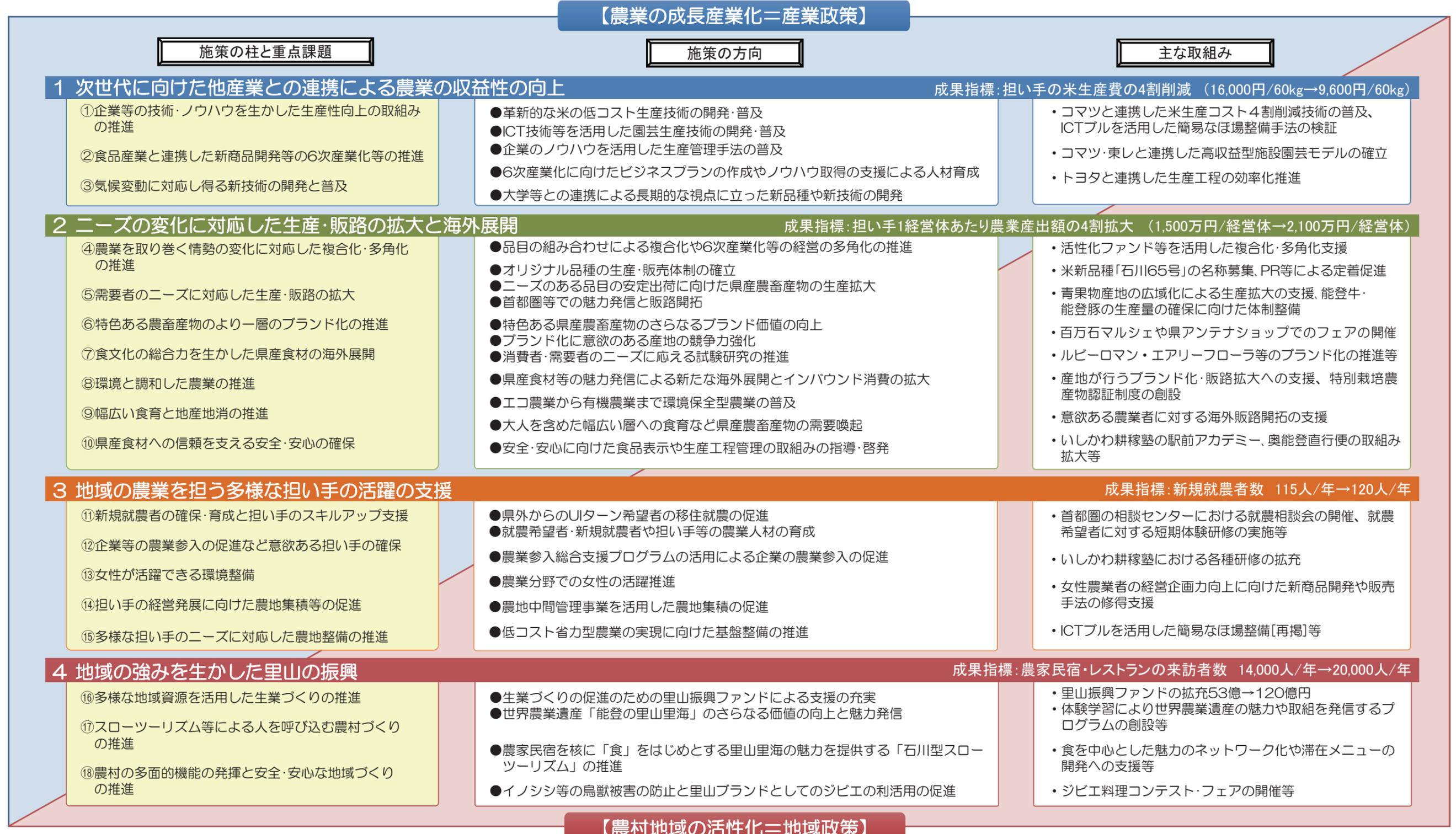


新たな「いしかわの食と農業・農村ビジョン」の概要

◇食と農業・農村を取り巻く環境

- 農作物の価格低迷等により、農業者の経営は厳しさを増しているほか、農業者の高齢化や農業の担い手不足が進み、鳥獣被害の増加等も相まって、里山の荒廃が懸念される状況となってきた。
- 北陸新幹線金沢開業や世界農業遺産の認定による観光客増加を受けて、県内の飲食店等では、特色ある県産農畜産物の取扱量が増えており、さらなる需要が期待される。
- 企業、新規就農者等の多様な担い手が増加し、さらに、他産業と連携した生産性向上やコスト削減等の新たな取組みが進められている。

◇取り組むべき施策の体系（4つの柱と18の重点課題）



◇目標年度：平成37年度（10年後）とし、5年後を目途に見直しを検討